

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(教育学部)

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
教育学部の専門科目である「家庭経営学」「家族関係学」「道德教育の研究」「人権教育論」「発達心理学特殊講義 II」などでは、男女共同参画やJGBTQなどダイバーシティに関連した内容が扱われている。また教養教育科目として「女性のライフコースとキャリア」のオーガナイザーを教育学部教員が行っている。 教育学部附属中学校では、「はばたけ！熊本サイエンスガールズ」のプロジェクトを利用し、ワークライフバランスや女性研究者のキャリア形成について話を聞く、サテライトセミナーを2回実施した。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
学生の研究では、「女性活躍推進や男女共同参画の視点に立った震災対応」をテーマとした卒業研究が行われた。 教員の研究では、「地域の男女共同参画」や「インドにおける障害者とジェンダー」をテーマとした研究が行われ、研究成果は熊本大学教育学部紀要に掲載された。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
熊本大学教育学部附属特別支援学校では、人権教育に関する職員研修会において、LGBTに関する講演会を実施した。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
平成30年度の育児休業取得者は5名(附属特別支援学校教員2名,附属小学校2名,教育学部事務課1名),産休中の教職員は2名(附属特別支援学校1名,附属幼稚園1名)である。附属特別支援学校では、八幡彩子校長(教育学部教授)が熊本県の“よかボス”宣言に登録し、教職員の仕事や結婚・子育てや介護などを応援することを、学内外に示している。
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。